

1. 件 名 : 「リサイクル燃料貯蔵株式会社によるリサイクル燃料備蓄センターにおける使用済燃料貯蔵施設の設計及び工事の計画の認可に係る申請等に関する面談」

2. 日 時 : 令和2年12月21日(月) 14時00分～14時30分

3. 場 所 : 原子力規制庁 10階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

長谷川安全規制管理官、石井企画調査官、尾崎安全審査専門職

リサイクル燃料貯蔵株式会社

赤坂常務取締役 リサイクル燃料備蓄センター長 他1名

5. 要旨

リサイクル燃料貯蔵株式会社(以下「RFS」という。)から、今後の設工認申請及び電気事業連合会(以下「電事連」という。)のプレスリリースについて配布資料に基づき以下の説明があった。

- ・先般報道のあったRFSの使用済燃料貯蔵施設の共同利用について、電事連のプレスリリース資料から、電事連が検討に着手したことは認識しているが、それ以上の情報については承知していない。現在のところ、本件に関する具体的な計画はない。
- ・これまでどおり来年1月に向け設工認申請の準備を進めているところ。その具体的な内容については、12月23日の審査会合で改めて説明する。

6. 配布資料

- ・電気事業連合会からのお知らせ「第5回使用済燃料対策推進協議会での要請事項に対する取組状況」